

第 15 事業年度（2022 年度）事業計画書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

I. 基本方針

新型コロナウイルスの蔓延により、前事業年度の認証式や交流会、選考委員会等の公益事業はオンラインで開催せざるを得ず、また評議員会、理事会も書面決議による開催となった。当事業年度においては、新型コロナウイルスが収束し、対面型の事業が行われることを期待して、本計画書を策定した。

当財団は、日本で学ぶ日本人学生を支援する新事業を開始するために準備を重ねてきたが、当事業年度において内閣府の承認を得て念願の新事業を開始し、第 1 期奨学生を迎えることを計画している。

また、前事業年度において、本人の事由によらず、博士後期課程の標準修業年限を延長せざるを得ない私費留学生の特別募集を行ったが、今後も状況に応じて募集を行い、日本に留学した外国人留学生が志を達成できるよう支援したい。

II. 事業の実施計画

1. 留学生支援

(1) 奨学生募集と選考・認証

①募集計画

私費留学奨学生（秋募集）	約 15 名
私費留学奨学生（春募集）	約 10 名
短期留学奨学生	約 15 名
派遣留学奨学生	約 15 名
日本人修士進学奨学生	約 3 名

②選考

2022 年	4 月	短期留学奨学生選考
	10 月	私費留学奨学生（秋募集）選考 日本人修士進学奨学生選考
2023 年	2 月	私費留学奨学生（春募集）選考 派遣留学奨学生選考

③認証式

2022年	4月	私費留学奨学生（春募集）認証式 派遣留学奨学生認証式
	11月	私費留学奨学生（秋募集）認証式 短期留学奨学生認証式 日本人修士進学奨学生認証式

(2) 奨学金の支給

本事業年度の奨学金支給計画は下記の通りとする。

私費留学奨学生	64名
短期留学奨学生	20名
派遣留学奨学生	16名
<u>日本人修士進学奨学生</u>	<u>3名</u>
合計	103名

2. 交流活動

- (1) 交流会 6回開催
- (2) 説明会 派遣留学奨学生渡航前説明会

3. 奨学生のサポート

奨学生との面談や指導、生活報告書に対する助言等、必要に応じて実施する。

III. 評議員会・理事会の開催

1. 評議員会 2022年6月、 2023年3月
2. 理事会 2022年5月、11月、 2023年3月

(別表)

本事業年度の奨学金支給計画

(名)

奨学生 区分	奨学生期	対象			小計	合計
		学部	修士	博士		
私費	2019年10月期	0	0	3	3	64
	2020年4月期	0	0	3	3	
	2020年10月期	2	3	2	7	
	2021年4月期	3	7	3	13	
	2011年10月期	3	3	1	7	
	2022年4月期	2	16	6	24	
	2022年10月期	7			7	
短期	2021年	5	0	0	5	20
	2022年	15			15	
派遣	2021年	4	0	0	4	16
	2022年	12	0	0	12	
日本人修士 進学	2022年	3	0	0	3	3
奨学金支給計画人数						103